

Quality is more than a word

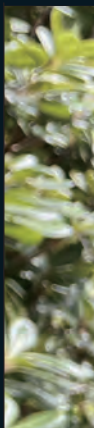
ESPEC



第 70 期

中間株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで



Anniversary

おかげさまでエスペック株式会社は
75周年を迎えました

株主のみなさまへ



代表取締役会長 いしだ まさあき
石田 雅昭

代表取締役 執行役員社長 あらた さとし
荒田 知

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2022年7月25日、当社グループは創業75周年を迎えました。長きにわたりご支援をいただいております株主のみなさまに重ねてお礼申し上げます。

2022年度第2四半期累計期間(2022年4月～2022年9月)の事業環境といたしましては、社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクスや自動車

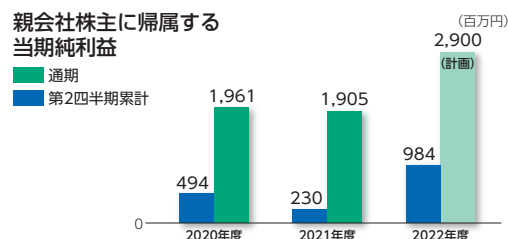
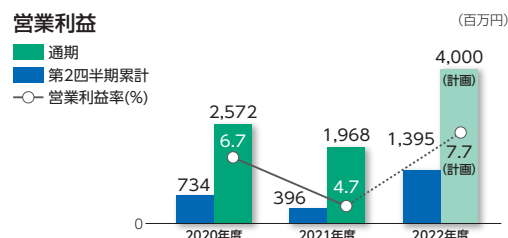
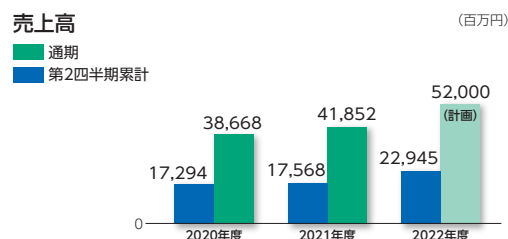
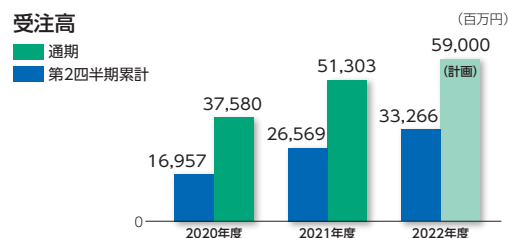
関連の投資が好調に推移し、主に5G・IoT、自動運転・電動化に関する市場において需要が拡大いたしました。こうしたなか当社グループは、電気・電子部品等の不足や部材価格・物流費の高騰などの影響を受けましたが、高水準の受注に対応するため生産活動を強化してまいりました。

経営成績といたしましては、受注高は前年同期比で25.2%増加し過去最高となりました。売上高は代替調達や設計変更などに取り組み、徐々に製品納期

の改善が進んだことから30.6%増加いたしました。
利益面につきましては、部材価格の高騰や受注拡大に伴う販管費の増加はあったものの、売上高を拡大したことにより営業利益は252.3%増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は326.8%増加いたしました。中間配当金につきましては1株当たり24円とさせていただきます。

2022年度通期計画につきましては修正を発表しており、受注高は590億円(2021年度比15.0%増)、売上高は520億円(同24.2%増)と期初予想を上回る見通しです。利益面につきましては、営業利益は40億円(同103.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は29億円(同52.2%増)と下方修正いたしました。電気・電子部品等の調達状況は不安定ではありますが、引き続き代替調達や設計変更など対策を講じるとともに生産体制を強化し、計画の達成を目指してまいります。なお、配当金につきましては1株当たり年間69円から変更しておりません。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



1株当たり配当金

	2020年度	2021年度	2022年度*
合計	51 円	60 円	69 円 (計画)
中間	10 円	18 円	24 円
期末	41 円	42 円	45 円 (計画)

* 創業75周年の記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

第8次環境中期計画を策定し、2025年度目標達成に向けて活動を強化 ～グリーンテクノロジーを開発されているお客さまへの事業を通じた貢献～

中期経営計画「プログレッシブ プラン2025」の重点戦略の一つとして、第8次環境中期計画（2022～2025年度）を推進しています。今回の特集では、第8次環境中期計画と取り組みについて紹介します。

事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献

当社は「持続可能な社会の実現のために事業で貢献する環境経営」を推進しています。このたび2030年度までの環境長期目標および第8次環境中期計画を策定し、現在2025年度目標の達成に向けて活動を進めています。本計画では、基本方針「グリーンテクノロジーを開発されているお客さまへの事業を通じた貢献」のもと、地球温暖化対策と生物多様性保全活動を中心に取り組みを強化しています。

グリーンテクノロジーの開発分野への製品・サービスの提供や、お客さま先での当社製品使用による温室効果ガス排出量（SCOPE3）低減に向けて環境配慮型製品の開発に取り組んでいます。また、環境保全事業による植樹や新しい森づくり活動も進めています。当社の気候変動の取り組みは国際団体CDPよりBスコアと高い評価をいただいています。引き続き環境問題に真摯に取り組んでまいります。

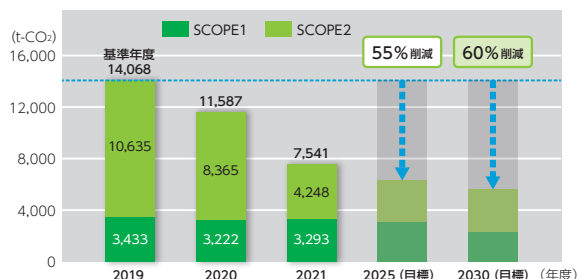
■ 環境長期目標（2030年度）

- ・温室効果ガス排出量（2019年度比） SCOPE1+2（自社排出）60%削減、SCOPE3（間接排出）30%削減

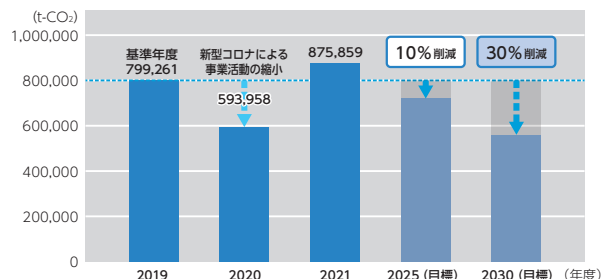
■ 第8次環境中期計画（2022～2025年度）

- ・温室効果ガス排出量（2019年度比） SCOPE1+2（自社排出）55%削減、SCOPE3（間接排出）10%削減
- ・植樹本数50,000本、CO₂固定貢献95t（累計） ・兵庫県三田市「エスペック50年の森」運営による生物多様性保全

温室効果ガス排出量 SCOPE1+2（自社排出）削減目標



温室効果ガス排出量 SCOPE3（間接排出）削減目標



グリーンテクノロジーの開発に貢献するエスペックの製品・サービス

気候変動対策のための技術などグリーンテクノロジーの開発に貢献する当社の製品・サービスを紹介します。これら製品・サービスをお客さまに提供することで持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。



二次電池向け充放電評価装置
充電・放電を繰り返し性能や耐久性を評価



燃料電池向け環境試験装置
寒冷地環境での性能を評価



**太陽電池モジュール向け
温度サイクル試験システム**
温度変化の繰り返しによる影響を評価



**パワーデバイス向け
パワーサイクル試験装置**
電流のON・OFFによる性能を評価

100%再生可能エネルギーによる受託試験サービス



国連規則に対応した車載用二次電池の安全性試験・認証サービスを行う
バッテリー安全認証センター(宇都宮テクノコンプレックス内)

お客さまの温室効果ガス排出量
削減に貢献



兵庫県立大学と「SDGs推進」に関する協定を締結

2022年8月、兵庫県立大学とSDGs推進を目的とした協定を締結しました。生物多様性保全、教育・人材育成、環境・エネルギーなどの分野において、両者が持つ知見や技術を活かして連携していきます。

生物多様性保全では、当社の在来種による屋上草地について学術的な効果検証を行います。また、新しい森づくり活動「エスペック50年の森」においても協力し、学生の教育や研究の場として活用予定です。



兵庫県立大学 学長 太田勲様(右)
エスペック 代表取締役会長 石田雅昭(左)



神戸R&Dセンターの在来種による屋上草地
学術的な効果検証を実施



兵庫県三田市「エスペック50年の森」予定地
2年間かけて木を植え森に育てます

受託試験事業の取り組み

電動車の品質・安全・信頼性に関する
ビジネスカンファレンスにて当社社員が講演

2022年9月、電動車の試験技術に関するビジネスカンファレンス「xEV テスティング・イニシアティブ」にて当社社員が講演を行いました。当社はバッテリー安全認証センター（宇都宮市）にて年間数百件の車載用バッテリーの試験を請け負っています。その実績により培った試験技術や知見をもとに車載用バッテリーの安全性試験の最新動向について発表し、570名が聴講しました。



テストコンサルティング本部 部長 青木雄一

社会貢献活動

公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」
設立 25 周年記念式典を開催

2022年9月、公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」の25周年記念式典を行いました。当基金は、環境保全のための研究や技術開発に資金の援助を行うもので、昨年までの24年間で合計291件、総額1億4,740万円の助成を行っています。式典には過去受賞者など約100名（オンライン含む）が参加しました。今後も環境保全に向けた若手研究者の取り組みを支援していきます。



過去受賞者と運営委員とのトークセッション

福知山市立南陵中学校のSDGs教育として「みどりのカーテン」設置授業を実施

2022年7月、福知山環境会議が福知山市立南陵中学校で実施したSDGs教育に参加し、3年生175名にゴーヤを使った「みどりのカーテン」設置授業を行いました。ゴーヤネットには一般的な樹脂製ではなくインドネシア産のサトウヤシネットを用いました。このネットは、インドネシアの貧困地域の方々の収入源として期待されており、子供たちに環境問題だけでなく貧困問題についても考えていただきました。



「みどりのカーテン」による
気候変動対策の効果を説明



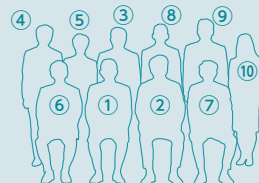
設置から約一カ月
立派な「みどりのカーテン」ができました

経営体制のご紹介

2022年6月開催の第69回定時株主総会で取締役10名（うち社外取締役4名）が選任されました。また、取締役会における審議の充実化と監督機能のさらなる強化を図ることを目的として、監査等委員である取締役が取締役会における議決権を有する監査等委員会設置会社に移行しました。当社の経営体制と新任取締役をご紹介します。



- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 代表取締役会長
① 石田 雅昭 | 社外取締役
⑥ 柳谷 彰彦 |
| 代表取締役
執行役員社長
② 荒田 知 | 社外取締役
⑦ 平田 一雄 |
| 取締役
常務執行役員
③ 末久 和広 | 取締役
(常勤監査等委員)
⑧ 石井 邦和 |
| 取締役
執行役員
④ 大島 敬二 | 社外取締役
(監査等委員)
⑨ 田中 崇公 |
| 取締役
執行役員
⑤ 西谷 淳子 | 社外取締役
(監査等委員)
⑩ 吉田 恭子 |



新任取締役のご紹介



取締役 執行役員
大島 敬二

主に総務人事や経営企画分野に従事してまいりました。現在はコーポレート統括本部長および輸出管理本部長を務めております。多様な人材の活躍推進やコーポレートガバナンスの継続的強化などステークホルダーのみなさまに信頼いただけるよう最善を尽くしてまいります。



取締役 執行役員
西谷 淳子

主に企業理念の浸透やブランディングの分野に従事し、現在はIR広報担当およびサステナビリティ推進本部長を務めております。事業やさまざまな企業活動を通じて環境や社会課題の解決に貢献し、みなさまに共感される企業となれるよう全力で取り組んでまいります。



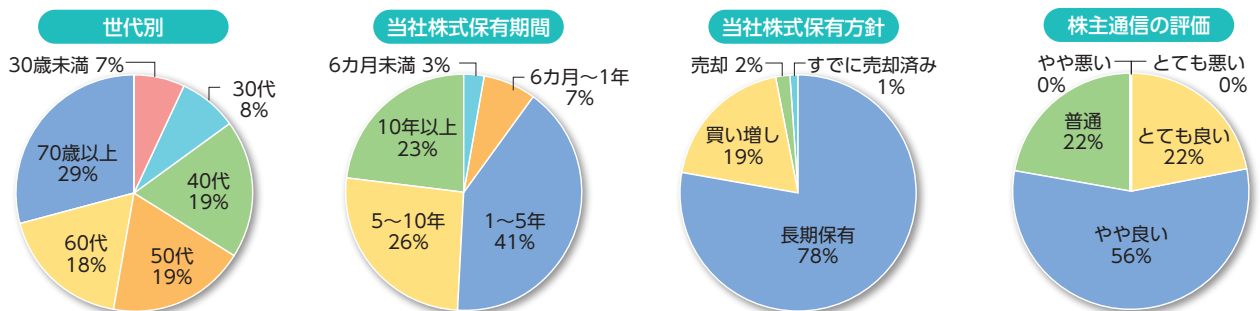
社外取締役
平田 一雄

日本電信電話公社（現・日本電信電話株式会社）の副理事や新日本無線株式会社（現・日清紡マイクロデバイス株式会社）の代表取締役社長を務め、研究開発や企業経営に携わってまいりました。これまでの経験を活かし企業価値向上に尽力してまいります。

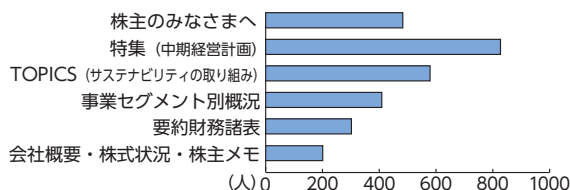
株主アンケート結果のご報告

第69期株主アンケートでは、1,649名(男性:76% 女性:24% 回答率:29%)のみなさまにご回答いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。以下のとおり、アンケートの結果をご報告する

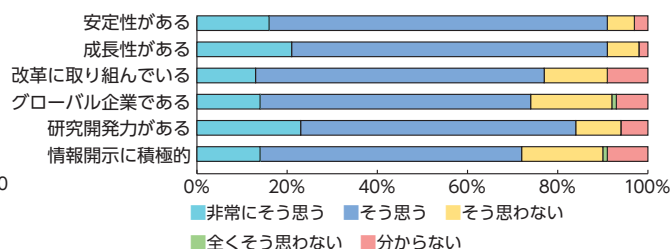
とともに株主さまからの声を一部ご紹介します。みなさまからの貴重なご意見を真摯に受け止め、当社についてよりご理解を深めていただけるよう株主通信のさらなる充実や今後のIR活動に活かしてまいります。



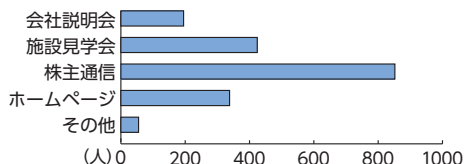
株主通信に興味を持った内容 (複数回答可)



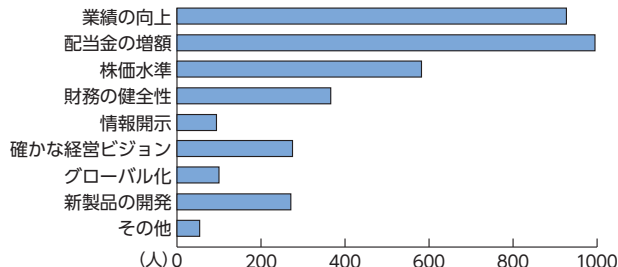
当社に対するイメージ



充実してほしいIR活動 (複数回答可)



長期保有・買い増しに重要なこと (複数回答可)



株主さまからの声

創業75周年おめでとうございます！

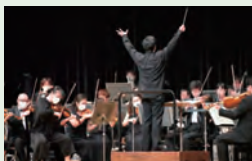
▶ありがとうございます。当社は2022年7月に創業75周年を迎えました。8月には、社員向けの75周年記念イベントを開催し、全社員に記念品を贈りました。イベントでは役員より未来に向けたメッセージを伝えるとともに、全社員が登場する映像や日本センチュリー交響楽団のコンサートで75周年をお祝いしました。社員からは「これからのエスベックが楽しみ」「みんなでがんばっていきたい」といった前向きな声が多数あがりました。これからも当社はさらなる飛躍を目指して挑戦を続けてまいります。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



会長の石田より
新しい企業理念を発表



社長の荒田より
未来への決意を発表



オーケストラによる
記念コンサート



記念品はロゴ入り
タンブラーとマグカップ

アンケートの記入方法を改善してほしい

▶アンケートはがきの記入欄に誤りがありました。申し訳ございませんでした。次回アンケートにて改善いたします。

障がい者就労農園「エスベックスマイルファーム」の取り組みは素晴らしいですね

▶「エスベックスマイルファーム」では現在4名が勤務しており、日々試行錯誤を繰り返しながらさまざまな野菜を栽培しています。収穫した野菜は地域の子供食堂への寄付などに活用しています。2022年10月には当社神戸R&Dセンターに野菜を届け、翌日開催した社内イベントで社員に配布しました。今後も他の事業所との交流などを行いながら継続して働くことができるよう取り組んでまいります。

より一層環境に配慮した活動を期待しています

▶特集(P.3-4)にて今年度スタートした環境中期計画を紹介しました。気候変動対策や生物多様性保全など環境に配慮した企業活動に努めてまいります。

エスベック製品がどのように 社会に貢献しているのかを具体的に知りたい

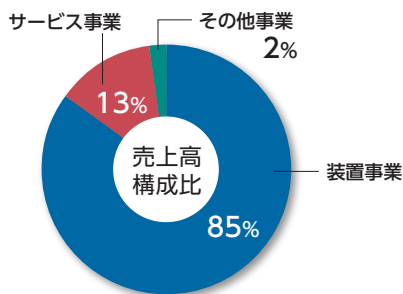
▶サステナビリティレポート2022にて、当社の環境試験器をお使いいただいている東北アンリツ株式会社様と、食品機械をお使いいただいている老舗フレンチレストラン「TERAKOYA」様のインタビュー記事を掲載しました。ぜひご覧ください。

▶こちらより
「サステナビリティレポート
2022」をご覧ください。



このほか「100周年に向けてがんばれ!」「ユニークな取り組みに期待」「これからも誠実な経営を続けてほしい」といった温かいお言葉を多数いただきました。

事業セグメント別概況



〈装置事業〉

- 環境試験器
- エナジーデバイス装置
- 半導体関連装置

〈その他事業〉

- 環境保全
森づくり・水辺づくり・都市緑化
- 植物育成装置
植物工場、研究用育苗装置

〈サービス事業〉

- アフターサービス・エンジニアリング
- 受託試験・レンタル

装置事業

環境試験器については、国内市場では受注高は汎用性の高い標準製品・カスタム製品ともに前年同期比で増加し、売上高は製品納期の改善が進んだ標準製品を中心に増加しました。海外市場においても受注は好調に推移し、売上高は中国、北米、欧州、東南アジア、韓国、台湾において前年同期を上回りました。

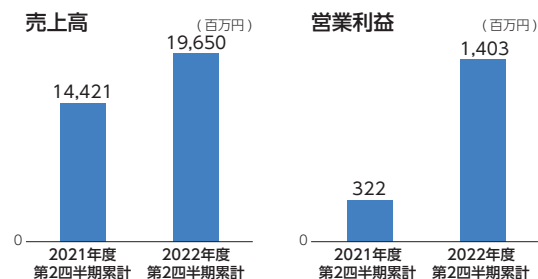
エナジーデバイス装置については、自動車関連の投資の回復により二次電池評価装置の受注を獲得し、受注高は増加しましたが、電子部品不足による製品納期の長期化により売上高は減少しました。

半導体関連装置については、自動車関連を中心に堅調に推移し、受注高は前年同期並みとなり、売上高は増加しました。

装置事業全体では売上高は36.3%増加し、営業利益は主に売上高の増加により334.9%増加しました。

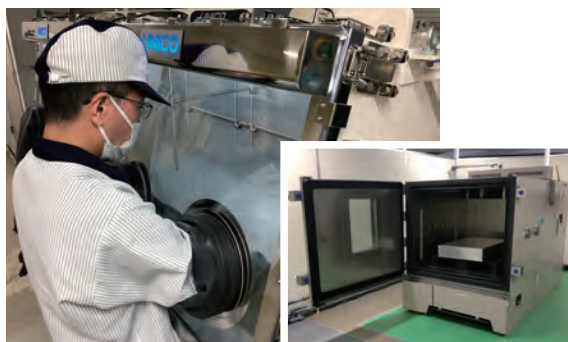


地球上のさまざまな気象環境を再現する全天候型試験ラボ
(神戸R&Dセンター内)

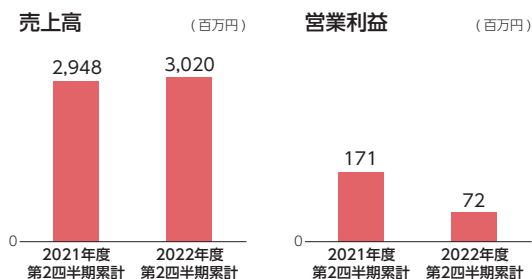


サービス事業

アフターサービス・エンジニアリングについては、保守契約など予防保全サービスが堅調に推移し、受注高は前年同期比で増加し、売上高は前年同期並みとなりました。受託試験・レンタルについては、受託試験が堅調に推移し、受注高は前年同期並みとなり、売上高は増加しました。サービス事業全体では売上高は2.4%増加し、営業利益は新しいアフターサービスの運用費などにより販管費が増加し57.9%減少しました。



車載用バッテリーの不具合解析サービスを開始
セル解体用グローブボックス(左)、パック電池低温解体槽(右)

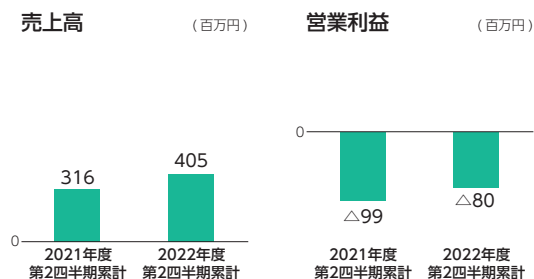


その他事業

環境保全事業および植物育成装置事業を中心とする
その他事業では、森づくりが堅調に推移するとともに植物育成装置の受注も獲得し、前年同期比で売上高は28.0%増加しました。営業利益は前年同期比で19百万円改善したものの80百万円の営業損失となりました。



作物の栽培環境を精密に制御する人工気象室
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構様に納入



要約財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前第2四半期末 2021年9月30日	前年度末 2022年3月31日	当第2四半期末 2022年9月30日
資産の部			
流動資産	37,692	43,076	45,670
固定資産	19,268	18,845	19,071
有形固定資産	12,295	12,388	12,630
無形固定資産	1,312	1,284	1,253
投資その他の資産	5,660	5,172	5,187
① 資産合計	56,961	61,922	64,741
負債の部			
流動負債	10,460	13,537	14,923
固定負債	2,952	2,792	2,833
② 負債合計	13,413	16,330	17,756
純資産の部			
株主資本	42,346	43,616	43,715
資本金	6,895	6,895	6,895
資本剰余金	7,120	7,120	7,120
利益剰余金	30,567	31,836	31,873
自己株式	△2,236	△2,236	△2,174
その他の包括利益累計額	992	1,762	3,050
非支配株主持分	208	213	219
③ 純資産合計	43,548	45,592	46,984
負債純資産合計	56,961	61,922	64,741

① 総資産

前年度末と比べ2,819百万円の増加となりました。その主な要因は、売上債権の減少及び有価証券の現金化などに伴う現金及び預金の増加2,870百万円、受注増加に伴う仕掛品等の棚卸資産の増加2,545百万円、現金化に伴う有価証券の減少1,499百万円、売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産ならびに電子記録債権)の回収による減少1,479百万円などによるものです。

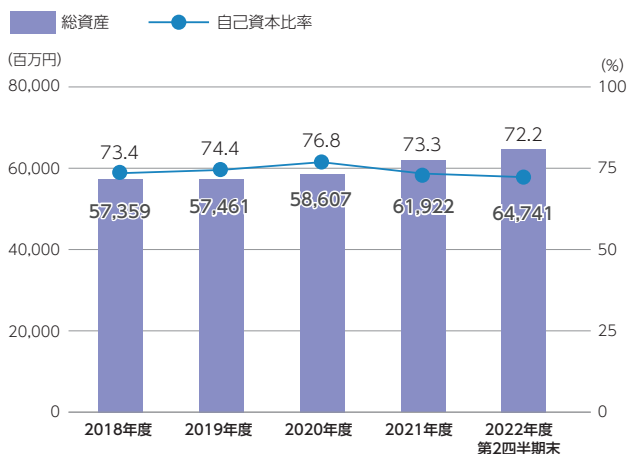
② 負債

前年度末と比べ1,426百万円の増加となりました。その主な要因は、受注増加に伴い仕入高が増加したことに伴う仕入債務(支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務)の増加502百万円、受注増加に伴う契約負債等その他流動負債の増加782百万円などによるものです。

③ 純資産

前年度末と比べ1,392百万円の増加となりました。その主な要因は、急激な円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加1,323百万円などによるものです。

総資産・自己資本比率



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

連結損益計算書

(百万円)

科 目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	17,568	22,945	41,852
売上原価	11,686	15,150	27,849
売上総利益	5,881	7,794	14,003
販売費及び一般管理費	5,485	6,399	12,034
営業利益	396	1,395	1,968
営業外収益	117	361	419
営業外費用	38	25	66
経常利益	474	1,731	2,322
特別利益	37	0	399
特別損失	2	3	10
税金等調整前四半期(当期)純利益	509	1,728	2,711
法人税、住民税及び事業税	279	739	800
四半期(当期)純利益	230	989	1,910
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失	△0	5	4
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	230	984	1,905

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,344	2,322	2,018
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,085	△400	△932
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,280	△1,100	△2,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	548	600
現金及び現金同等物の増減額	△963	1,370	△1,144
現金及び現金同等物の期首残高	17,301	16,157	17,301
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	16,338	17,527	16,157

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は2,322百万円となりました。これは主に、売上債権の減少による資金の増加2,118百万円、税金等調整前四半期純利益の計上による資金の収入1,728百万円、減価償却費の計上による増加668百万円、棚卸資産の増加による資金の減少2,111百万円によるものです。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は400百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出472百万円によるものです。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1,100百万円となりました。これは主に、配当金の支払944百万円などによるものです。

会社概要・株式の状況・株主メモ

会社概要(2022年9月30日現在)

社名	エスペック株式会社
本社	〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
創業	昭和22年(1947年)7月25日
設立	昭和29年(1954年)1月13日
資本金	6,895百万円
従業員数	1,655名(連結) 777名(単体)

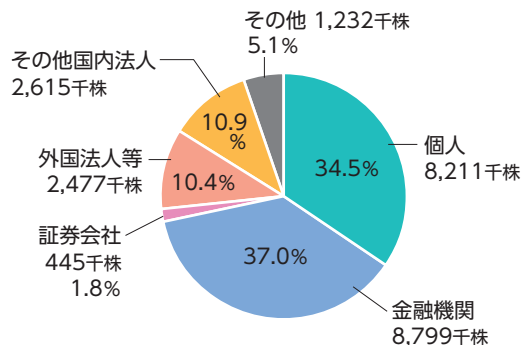
役員(2022年6月23日現在)

代表取締役 会長	石田 雅昭
代表取締役 執行役員社長	荒田 知
取締役 常務執行役員	末久 和広
取締役 執行役員	大島 敬二
取締役 執行役員	西谷 淳子
社外取締役	柳谷 彰彦
社外取締役	平田 一雄
取締役 (常勤監査等委員)	石井 邦和
社外取締役 (監査等委員)	田中 崇公
社外取締役 (監査等委員)	吉田 恭子
執行役員	浜野 寿之
執行役員	淵田 健二
執行役員	渡部 克彦
執行役員	梅原 武彦

株式の状況(2022年9月30日現在)

発行済株式総数	23,781,394株 (自己株式1,232,073株を含む)
株主数	6,308名

所有者別株式数分布状況



大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,344	19.26
エスペック取引先持株会	2,162	9.58
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,895	8.40
エスペック従業員持株会	767	3.40
日本生命保険相互会社	553	2.45
株式会社みずほ銀行	513	2.27
佐々木嘉樹	500	2.21
株式会社立花エレテック	419	1.85
因幡電機産業株式会社	310	1.37
第一生命保険株式会社	276	1.22

※持株比率は自己株式を除いて計算しております。

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
中間配当制度	有
基 準 日	3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日
株式上場取引所	東京証券取引所(証券コード:6859)
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	0120-288-324(通話料無料)
お 取 扱 店	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) 株式会社みずほ銀行(本店および全国各支店)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載の当社ホームページURL https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載

お問合せ先

エスベック株式会社 サステナビリティ推進部 IR・広報グループ
Tel: 06-6358-4744 e-mail: ir-div@espec.jp

IRサイト・メール配信サービスのご案内

IRサイトでは、財務・業績データや株式情報などさまざまな情報をご覧いただけます。

■ 決算説明会ページ

2022年度第2四半期決算について説明動画を掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.espec.co.jp/ir/event/presentation.html>

■ IRメール配信サービス

IR情報をタイムリーにお知らせします。IRサイトよりご登録いただけますのでぜひご利用ください。

<https://www.espec.co.jp/ir/dirnet.html>



■ IRサイトに対する社外評価

当社のIRサイトは社外より高い評価をいただいています。2022年8月には「Gomez ESGサイトランキング2022」にて初めて優秀企業に選ばれました。



証券コード: 6859

エスペック株式会社



表紙・裏表紙の写真について

神戸R&Dセンター内の生物多様性フィールド「エスペックバンビの里」の写真を用いました。表紙のお花はツバキ、裏表紙はクロガネモチの果実です。